

### 下河内地区

**白川** (シラカハ) 八幡川の上流地域は花崗岩質の地域で、白い真砂の礫る河川となり地名となりました。

**大杉** (オオスギ) 極楽寺本尊の観音像の本体は、当地の大きな杉を切り出して造営されたという伝説によります。

**宮風呂** (ミヤフロ) 風が簞る地は風呂と呼ばれ、宮のまわりに神威の簞る鎮守の森があることによります。

**寺川** (テラカワ) 当地の観音様は小堂の周りを深流が流れ、お寺の小川の意味で地域名称となりました。

**城六** (ジョウロク) 地名の由来は不詳ですが、西部山麓に城跡があり、その山麓を表記したものと思われる。

**小林** (コバヤシ) 城六川に沿う山麓末端部に小さな樹林があり、その麓に地藏堂が安置されています。

**川坂** (カワサカ) 八幡地区に接する地域で、山に囲まれた川沿いに坂道が通り、要衝の地です。



下河内白川

### 上小深川地区

**野登呂** (ノトロ) 向山山麓に展開する緩やかな原野は、よく水を溜える地(トロ)＝登呂・滞となっていました。

**古野** (コノ) 河岸段丘上の古い原野で、かつては南の河内本郷の大原に対し、小野とも称していました。

**中村** (ナカムラ) 小深川地区の中心部を表記し、古野や野登呂への至道が通じ、河内本郷にも接しています。



上小深川

### 下小深川地区

**立野** (タチノ) 門前山の西麓には小規模の平地があり、水田に対し急傾斜地が立ちあがっています。

**門前** (モンゼン) 古くから門前と呼ばれ、河内本郷口山根城の土居屋敷があり、門前町であったと思われます。



下小深川

**藤の木** (フジノキ) 上小深川地区と石内地区に亘って開かれた住宅団地で、地名発祥の由来は不詳です。因みに上小深川に藤川が、石内に椎木の小字名があり、合成地名とも考えられます。

**彩が丘** (アヤガオカ) 下河内地区の城六川上流の丘陵一帯に開かれた住宅団地で、地名の由来は不詳です。春秋の山肌は彩のように色づき景色はすばらしいです。現在団地一帯の住居表示は、河内南に統一されています。



藤の木団地と彩が丘団地(季節)

### 道路

#### 県道41号線(五日市筒賀線)

五日市から湯来・筒賀へと、南北を結ぶ主要な県道です。以前は、八幡地区の三和橋から湯来町の砂谷地区までは八幡川と平行していました。魚切ダムの建設に伴い付け替え工事が行われ、現在のように上河内の高橋から白川までは、山の中腹あたりを通るようになりました。



奥池と八幡川



彼岸花と稲穂

この付近は車で走ってもハイキングをしても、春夏秋冬の自然を満喫できる地域です。初夏には田植えの風景やホタルの飛び交う光景や蛙の鳴き声が聞こえ、秋には彼岸花と稲の黄金色が調和した景色などが目に飛び込んできます。

**河内農道** 1969年(昭和44年)より土地基盤整備に伴う地域開発を目的として工事は開始されました。上河内古野橋を起点とし、河内地区の中央部を貫き下河内川坂を結ぶ延長:2.083m・幅員:4.5m~6mで、1974年(昭和49年)に開通しました。



河内農道

**中国自然歩道** 昭和40年代後半ごろから環境保護が叫ばれるようになり、人々が自然を求めて海や山に出かけるようになる中で「中国自然歩道」は整備されました。河内地区のルートは、1983年（昭和58年）頃に整備され、極楽寺山－広島市植物公園－荒谷－河内峠－寒ヶ山－安佐南区のルートが設定されました。このルートは健脚向きです。また雨などにより至るところで通行できない箇所がありますので、敷策には万全の準備をして出かけられることをお勧めします。



河内峠付近



荒谷地区

**山陽自動車道** 1987年（昭和62年）2月26日に五日市IC～廿日市JCT間が開通しました。河内地区は八幡川橋により、車両は高所を通過しています。

**学校・幼稚園・保育園・公民館・集会所**

**学校・幼稚園・保育園**

施設名	創立年	園児・児童数 2001年（平成13年）12月現在
河内小学校	1873年（明治6年）4月5日	275名
藤の木小学校	1990年（平成2年）4月1日	580名
影が丘小学校	1994年（平成6年）4月1日	578名
藤の木幼稚園（私立）	1991年（平成3年）4月	定員240名
河内保育園	1953年（昭和28年）10月認可	163名

**河内公民館** 1952年（昭和27年）7月に河内小学校内に創設され、1960年（昭和35年）に元の河内村役場跡に移転しました。現在の広島市農協河内支店南側にありましたが、建物の老朽化により1982年（昭和57年）4月に現在の場所に移転しました。



河内公民館

**藤の木公民館** 1992年（平成4年）5月1日に開館しました。

**影が丘公民館** 1996年（平成8年）5月1日に開館しました。

**地区集会施設** 河内地区には8箇所、藤の木地区には4箇所、影が丘地区には2箇所の合計14箇所の集会所があります。

**人口・世帯**

2001年（平成13年）10月末現在で、世帯数は4,361世帯となっています。人口は14,062人で河内地区は4,133人、藤の木地区は5,579人、影が丘地区は4,350人となっています。

**地域の特徴**

**鮎の放流** 毎年5月に八幡川上流域の3～5箇所で、約100kg＝約14,000匹の稚鮎を放流しています。



稚魚放流の様子

**無人市と朝市** 河内地区では、野菜や花の栽培が盛んに行われ、生産者が持ち寄り朝市を実施しています。現在2箇所で行われています。新鮮な野菜・花を求めて、多くの人たちが集まっています。

**場所**

- 1 無人市** 佐伯区五日市町大字上河内の県道41号線沿いで藤の木団地入口手前にあります。開店日は毎日午前9時から完売までです。
- 2 朝市** 佐伯区五日市町大字上河内の県道41号線沿いでJA広島市河内支店倉庫前にあります。開店日は毎週土曜日の午前9時～10時です。



市農協河内支店南側での朝市のような様子